

◆生産段階で生鮮野菜を衛生的に保つために～栽培から出荷までの野菜の衛生管理指針～（第2版）の更新について

生鮮野菜による食中毒は、肉類と比べて発生する可能性は低いものの、海外では生鮮野菜が原因と考えられる大きな食中毒事例が報告されています。

そのため、農林水産省では、生産段階において野菜を衛生的に保ち、食中毒が起きないように、国際的に定められた衛生管理の取組を参考に、平成23年に衛生上の注意すべき点を国内向けに指針としてとりまとめ、以降、調査研究を通じて得られた衛生管理に関する知見や寄せられた現場からの意見等を踏まえ、令和3年7月に更新しました。

今後とも、国内で生鮮野菜が原因となる食中毒が起きないように、生産段階での野菜の衛生管理を推進します。

詳しくはこちら（農林水産省のホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/kome/k_yasai/index.html

◆商慣習見直しを進める事業者が昨年度より大幅に増加！

～食品ロス削減や食品リサイクルの取組事業者と取組内容を公表～

10月30日は「全国一斉商慣習見直しの日」です。この日に向けて農林水産省は、商慣習見直しに取り組む事業者を調査・募集するとともに、今年度からの新たな取組として、商慣習の見直しを含めた食品ロス削減や食品リサイクルの取組事例の募集を行いました。

今般、商慣習見直しに取り組む事業者名と取組内容をまとめましたので、公表します。

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

https://www.maff.go.jp/kinki/press/keiei/syokuhinkigyo/211101_63.html

◆令和3年産米の契約・販売状況、民間在庫の推移、事前契約数量及び米穀販売事業者における販売数量・販売価格の動向について（令和3年9月末現在）

平成30年産からの米政策の見直しにおいては、生産者や集荷業者・団体の主体的な経営判断や販売戦略に基づき、需要に応じた米生産ができるよう環境整備を進めることとしており、その一環として、平成26年3月から米の流通に係るよりきめ細かい需給・価格情報、販売進捗・在庫情報等の提供を行っています。

今回、令和3年9月末現在の契約・販売状況、民間在庫の推移、事前契約数量及び米穀販売事業者における販売数量・販売価格の動向について、米の出荷・販売業者、団体等から報告のあった内容を取りまとめましたので公表いたします。

概要

1. 契約・販売状況

令和3年9月末現在の全国の集荷数量は92.4万トン（対前年同月比+6.3万トン）、契約数量は142.6万トン（対前年同月比▲11.9万トン）、販売数量は10.1万トン（対前年同月比+1.0万トン）となっています。

2. 民間在庫の推移

令和3年9月末現在の全国の民間在庫は、出荷・販売段階の計で対前年同月比+24万トンの214万トンとなっています。また、前月の対前年同月比+17万トンと比べ7万トン増加していますが、これは令和3年産米の予想収穫量が700万トン（「令和3年産水稻の作付面積及び予想収穫量（9月25日現在）」（大臣官房統計部、令和3年10月12日公表））となる中、例年よりも生育が早く、集荷が前倒しされていること等によるものと考えられます。

3. 事前契約数量

令和3年9月末現在の全国の前契約数量は126.5万トン（対前年同月比▲15.1万トン）となっています。

4. 米穀販売事業者における販売数量・販売価格の動向

令和3年9月末現在の米穀販売業者が販売している精米の全体数量・価格の動向を指数化したものです。

販売数量は前年同月比100.5%（うち小売事業者向けは前年同月比99.6%、中食・外食事業者等向けは前年同月比101.8%）。

また、小売事業者向けの販売価格は前年同月比94.0%、中食・外食事業者等向けの販売価格は前年同月比96.5%となっています。（速報値）

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/211029.html>

◆「国際果実野菜年 2021」おすすめレシピ・食べ方の審査結果の公表について

農林水産省では、国連で採択された「国際果実野菜年 2021」の取組の一環で、健康的な食事に欠かせない果物や野菜に関して、一般家庭で作ること・食べることができるおすすめレシピ・食べ方を、本年6月4日から8月31日まで募集しました。

その結果、全国から259品の応募があり、管理栄養士による審査の結果、特に優れたレシピ21品についてはこれを表彰・公表するとともに、259品全てを農林水産省 Web サイトで順次紹介します。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/ryutu/211029.html>

2.お知らせ

<募集・案内>

◆第15回「アグリフード EXPO 東京」出展者募集開始のご案内 ～ 展示会場とオンラインで初めてのハイブリッド開催～

「アグリフード EXPO」は、日本政策金融公庫が主催する国産農産物をテーマとした全国規模の商談会です。

今回開催される第15回「アグリフード EXPO 東京」では、展示会場における展示商談会とオンライン商談会のハイブリッド方式で開催されます。

全国各地の国産ブランドを担い、魅力ある農産物づくりに取り組んでいる農業者の皆様や、地元産品を活用した多様なこだわり食品を製造する食品企業の皆様におかれましては、広域的な販路拡大の機会となりますので、皆様のご出展をお待ち申し上げます。

展示商談会

- ・期間：2022年2月2日（水）、3日（木）
- ・場所：東京ビッグサイト東展示棟

オンライン商談会

- ・期間 2021年12月1日(水)～2022年2月28日(月) (Zoom)

募集期間：2021年10月4日（月）～11月30日（火）

出展対象

1. 農業者：国内で農業を営む者
 2. 食品企業：国産農産物（水産物を除く）を主原料とする食品を主として扱う国内食品企業
- ※ 1、2の団体による出展も可。

詳細、お申込み、お問い合わせはこちら（外部リンク）

<https://www.agrifood-expo.com/youkou/>

◆令和3年度技術講習会「食品の調理や取り扱い方法に関する講習会」のご案内

FAMIC（独立行政法人農林水産消費安全技術センター）神戸センターが開催する令和3年度技術講習会「食品の調理や取り扱い方法に関する講習会」をご案内します。

開催日時：令和4年1月21日（金）13：30～16：20

講習会内容

◇講演1「低温調理の安全性を考える」

- ・最近話題の「低温調理」について食品衛生で気をつけるべき点を解説します。

講師：ロイドレジスタージャパン（株）取締役

立命館大学客員研究員

今城 敏（いまなり さとし）氏

※今城氏は、フジテレビ「めざましテレビ」、日本テレビ「news every.」のほか、関西テレビ、毎日新聞、朝日新聞、日本経済新聞などで低温調理について解説。

◇講演2「取扱方法に関するJAS」～新たな制度に基づき制定されたJASの紹介～

- ・新しいJAS制度に基づき制定された取扱方法に関する最新のJASについて説明します。

講師：FAMIC 神戸センター規格検査課職員

対象者：食品製造事業者、流通業者、食品加工・調理業者等

定員：70人（先着順）

受講料：1,000円（税込み。事前振込）

実施方法：Webex Meeting によるオンライン方式

申込方法：<http://www.famic.go.jp/event/>

上記 URL からお申込みください。

申込締め切り：12月10日（金）

お問い合わせは、FAMIC（独立行政法人農林水産消費安全技術センター）神戸センター 業務管理課 浅井、藤野まで

TEL：050-3797-1908

FAX：078-304-7425

Mail：kobe@famic.go.jp

◆令和3年度近畿農政局輸出に取り組む優良表彰の募集について

近畿農政局では、近畿管内の優れた輸出事業者を表彰することを目的として、「令和3年度近畿農政局輸出に取り組む優良事業者表彰」を令和3年11月1日（月）から令和4年1月14日（金）まで公募を行っております。

この表彰については、農林漁業者だけでなく、第2次産業（食品製造業等）、第3次産業（流通・小売業等）に従事されている事業者も対象としており、自薦・他薦問わず応募が可能です。

輸出に取り組んでいる皆様からの応募をお待ちしております。

応募方法や表彰など詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/keiei/zigyo/211101.html>

◆「スマート農業推進フォーラム 2021 in 近畿 スマート農業セミナー」開催

近畿農政局は、「スマート農業推進フォーラム 2021 in 近畿 スマート農業セミナー」を開催します。本セミナーでは、スマート農業及びみどりの食料システム戦略に関する施策説明、専門家による講演、近畿農業に対応したスマート農業技術の紹介、スマート農業実証プロジェクトの取組事例発表を行います。

参加費は無料です。

◇開催日時、方式等

開催日時：令和3年12月1日（水曜日）13時30分～16時15分

場所：スペースアルファ三宮 中会議室1（神戸市中央区三宮町1-9-1 三宮センタープラザ東館6F、JR「三ノ宮」駅、各線「三宮」駅より徒歩約5分、地下鉄海岸線「三宮・花時計前」駅より徒歩約3分）、オンライン（Zoom）でも同時配信

定員：会場開催（20名）、オンライン（200名）

◇プログラム

・施策説明

「みどりの食料システム戦略におけるスマート農業の果たす役割」

農林水産省 大臣官房 技術政策室 課長補佐 藤田 由美子 氏

・スマート農業専門家による基調講演

「環境負荷低減に対応したスマート農業の推進」

鳥取大学 農学部 生命環境農学科 准教授 森本 英嗣 氏

・近畿農業に対応したスマート農業技術の説明

「中山間地域農業に有望なスマート農業技術についてースマート農業実証プロジェクト（水田作）の成果報告書からー」

農研機構 西日本農業研究センター スマート農業コーディネーター 大黒 正道 氏

・スマート農業実証プロジェクト取組事例発表

「丹波地域における有機野菜栽培のリモート化を通じた持続可能な営農モデルの実証」（兵庫県丹波市）

（株）マブリィ 代表取締役 山口 圭司 氏

「淡路島から発信！ほ場利用率 300%が挑む、SDGs 社会の実現に向けた施設園芸と露地野菜を組み合わせたハイブリッド地域社会農業の実証」（兵庫県南あわじ市）

一般社団法人 スマートな島ぐらし推進協議会 スマート農業推進リーダー 奥野 竜平 氏

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ（チラシ））

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/kankyo/attach/pdf/211104-2.pdf>

3. フォトレポート

◆近畿農政局管内で頑張る生産者・事業者の方々などをホームページで写真により紹介しています。

◇和歌山県由良町 極早生（ごくわせ） うんしゅうみかん「ゆら早生（わせ）」

「ゆら早生発祥の地」のみかん、今年も味は抜群！

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/wakayama/photo/img/202111yurawase/yuracyo.html>

◇兵庫県明石市 兵庫県漁業協同組合連合会兵庫のり研究所

兵庫ノリの養殖シーズン到来 種付け作業が行われました

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/hyogo/p_repo/202110hyogonori.html

◇奈良県大淀町（大阿太高原） 大淀町果樹組合

「奈良県プレミアムセレクト二十世紀」で大阿太高原を魅力ある梨の産地に

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/nara/photo/photo_2021/report_20211002.html

4. BUZZ MAFF

【BUZZ MAFF】広げよう「畑ヘルパー倶楽部」の輪！

農林水産省では、職員自らが、省公式 YouTube チャンネルで、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクト「BUZZ MAFF（ばずまふ）」を発信しています。近畿農政局（奈良県拠点）では、奈良市東部を主な活動場所とし、「農家さんに元気になってもらいたい」を合言葉に活動する農作業ボランティアグループ「畑ヘルパー倶楽部」の取組を4つのエピソードで紹介しています。

是非ご視聴ください。

○エピソード1・広げよう、「畑ヘルパー倶楽部」の輪！（外部リンク）

<https://www.youtube.com/watch?v=PEZIdcTuT58>

○エピソード2・林檎の袋掛けに挑戦！（外部リンク）

<https://www.youtube.com/watch?v=qhkeUWHSQyY>

○エピソード3・蓮のお花畑を大掃除！（外部リンク）

<https://www.youtube.com/watch?v=sWMAfKKw5nw>

○ファイナルエピソード・台風一過！レンコン掘ったぞー！

<https://www.youtube.com/watch?v=811XuIcRUbE>

○各チャンネルの紹介(農林水産省ホームページ)

<https://www.maff.go.jp/j/pr/buzzmaff/>

5.統計情報

◆近畿農業の概要を更新しました。

「近畿農業の概要」は、農林水産省が実施している統計調査や農林水産業に関する統計などの最新のデータを基に、近畿地域における農業の概要について紹介しているものです。
令和3年11月1日 農林業センサス、農業産出額等のデータを更新しました。

詳しくはこちら (近畿農政局ホームページ)

<https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/gaiyo/kinkigaiyo/saisin.html>

◆スマホでみる農林統計の農林業センサスデータを更新しました。

スマートフォン向けに作成した統計表により、近畿の府県別、市町村別の主要農林水産統計データが閲覧できます。

令和3年11月5日 農林業センサスデータを更新しました。

詳しくはこちら (近畿農政局ホームページ)

<https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/smapho/index.html>

∞*編集後記*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*

2021 年は、果実と野菜を摂ることによってもたらされる栄養上・健康上の利点について世界的に認識を深めることを目的に国連が定めた国際果実野菜年 (International Year of Fruits and Vegetables : IYFV2021) です。

農林水産省では、「国際果実野菜年 2021」の取組の一環で、健康的な食事に欠かせない果物や野菜に関して、一般家庭で作ること・食べることができるおすすめレシピ・食べ方を募集し、応募のあったレシピ 259 品を農林水産省 Web サイトで順次紹介します。

皆様の果物・野菜の摂取にお役立てください。

■□・・●

☆配信停止、メールアドレス等変更には

御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。
パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をお願いします。
☆配信中止・配信メールアドレスの変更・バックナンバーの閲覧は、
⇒ <http://www.maff.go.jp/kinki/pr/mmg/index.html>
☆近畿アグリレターに関するご意見・ご要望は、
⇒ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/1209.html>
までお願いします。

編集・発行：近畿農政局 企画調整室
〒602-8054 京都府京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町
電話：075-451-9161（内線 2017） FAX：075-414-9060

